

道徳だより

# ひだまり



川北町立中島小学校  
平成29年度  
第1号 5月16日

## ◆道徳だより「ひだまり」を発行します◆

あたたかいひざしが教室に差し込み、子どもたちをやさしく包み込んでくれています。子どもたちは、そんな光にこたえるように元気よく毎日を過ごしています。

さて、昨年度に引き続き、今年度も中島小学校は道徳に力を入れていくことになり、日頃の子どもたちの道徳授業の様子や道徳教育とは？という疑問などにお答えできるよう「道徳だより『ひだまり』」を発行していきます。

各学年の道徳授業のようすや、その中で子どもたちの心がどんなふうに動いたかを少しずつ紹介していきます。この道徳だよりを通して、学校と家庭・地域の連携をとりながら、子どもたちの道徳性をはぐくんでいきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

## ◆道徳の時間の内容について◆

道徳の内容は、全学年4つの視点があり、下記の内容を1年間でまんべんなく学習するように計画されています。

①自分自身に関する事

(基本的な生活習慣など)

②他の人とのかわりに関する事

(礼儀、親切、友情など)



③自然や崇高なもののかかわりに関する事

(生命尊重など)

④集団や社会とのかわりに関する事

(勤労、郷土愛など)

## ◆道徳授業 紹介(6年生) ◆

道徳だより『ひだまり』では、各学年の道徳授業の様子をお伝えしていきます。今月は、6年生です。この日の授業は、「江戸しぐさ」をテーマに礼儀について考える授業でした。みなさんは「江戸しぐさ」って知っていますか？

昔、江戸の町では、かさをさしてすれ違うとき、相手に水がかからないように互いにかさを外側にかたむけて通り抜ける「かさかしげ」をする習慣がありました。「肩ひき」「かに歩き」「こぶし腰うかせ」など、いくつかのしぐさがあります。

江戸の町の人たちは、どんな思いで「江戸しぐさ」を大切にしたのでしょうか。

相手のことを思って  
の行動だから大切だ

江戸しぐさで、知  
らない人とでも仲  
良くなれる。

現代だったら、エレベータ  
ーの心づかいがあるよ。

ほくもさりげない気  
づかいをしたい。

### ★保護者の方にも資料を読んで、ご意見をいただきました。

- ・日々、忙しくても相手のことを思いやる気持ちを忘れずに行動したい。
- ・江戸しぐさが現代にも引き継がれてきたように、良いしぐさを子どもたちに伝えていくことを大切にしていきたいです。
- ・このお話を読んで、人への思いやりの大切さを親子で話し合いました。
- ・秩序・モラル・常識、各年代で守るとよい物もの、守らなくてはいけないことがあると思います。それを親として子にどう伝えていくかよく考えます。

(6年生の保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。)

### 校長先生から



さりげなく、自然に「江戸しぐさ」ができている場面に出会うと、思わずほえんでしまいます。先日、電車の中で、少しずつ席を譲って、座る場所を空けてあげる「江戸しぐさ」に出会いました。それがなんとも自然でよい光景でした。私たちの日常にも、たくさんそんな場面があります。

道徳の時間に学ぶことは、子ども達にとって大切なことばかり。学んだことを忘れず覚えておいて生活の中で実践して行ってほしいですね。

### 時間を守る

昼休み終了チャイムと同時に運動場から走って校舎に入ってくる「中島っ子」には、いつも感心させられます。1年生も、上学年に習って素早く掃除活動の準備に入ります。時間を守ることは、集団生活においての最も基本的な規律の一つです。1年生の授業では自分のために、あるいは相手の人に迷惑をかけることを学習しましたが、上の学年では、信頼や友情を深めるためや社会人として一番大切なことであるといったカリキュラムになっています。6月10日は、天智天皇が日本で初めて水時計を作らせ時を知らせたという「時の記念日」。これを機会に、自分が決めた時間も守るように自戒したいと思います。